

令和4年度 第2回尾張旭市介護保険運営協議会会議録

1 開催日時

令和4年11月15日（火）

開会 午後1時30分

閉会 午後2時30分

2 開催場所

市役所 2階 201会議室

3 出席委員

上田智子、山崎雅弘、山田尚史、原口浩美、森修、若杉鉦三、秋田誠三、
渡邊安正、丹羽睦、宮崎直美、林裕人、大野洋子、秋田友子（計13名）

4 欠席委員

松尾功、椿山岳史（2名）

5 傍聴者数

なし

6 出席した事務局職員

健康福祉部長 竹内元康、長寿課長 山田祐司、長寿課主幹兼長寿支援係長 西川
敏也、長寿課長補佐兼介護保険係長 大津俊介、長寿課庶務係長 前橋貴子、長寿
課主事 岩田佳菜生、地域包括支援センター所長 木上恒夫、生活支援コーディネーター 森島一樹、オブザーバー 株式会社サーベイリサーチセンター名古屋事
務所 杉田純一

7 議題

(1) 介護予防支援委託業務に係る指定居宅介護支援事業者の新規承認について
（資料1）

(2) 第9期高齢者保健福祉計画の策定について（資料2）

8 会議要旨

＜ 開 会 ＞ 事 務 局	長寿課長の山田でございます。定刻となりましたので始めさせていただきます。 本日はお忙しい中、令和4年度第2回尾張旭市介護保険運営協議会にお集まりいただきありがとうございます。本日は、松尾委員、あと、椿山委員から都合により欠席と伺っておりますが、13名の委員の方に御出席いただいております。尾張旭市介護保険運営協議会規則第5条第2項の規定にあります定足数に達しておりますことを報告させていただきます。
--------------------------	---

	また、第 9 期高齢者保健福祉計画の策定業務支援事業所であります、株式会社サーベイリサーチセンター名古屋事務所の杉田研究員にも会議に出席していただいておりますので、よろしくお願いいたします。 なお、この協議会は、尾張旭市附属機関等の基本的取扱いに関する要綱第 6 条の規定に基づき、原則として公開により開催されております。 また、本日は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、会議時間を 1 時間とさせていただきますことを御了承ください。 開会に当たりまして、会長の上田様から挨拶をいただきます。
上 田 会 長	＊＊ 会長挨拶 ＊＊
事 務 局	ありがとうございました。 それでは、議事に入る前に本日の資料の確認をさせていただきます。 ＊＊ 資料の確認 ＊＊ それでは、以降の議事の進行につきましては会長にお願いしたいと思います。よろしくお願いします。
上 田 会 長	それでは、早速始めてまいります。本日、議題は 2 題ということで、まず 1 題目、介護予防支援委託業務に係る指定居宅介護支援事業者の新規承認についてでございます。これらについての御説明をお願いいたします。
地域包括支援センター 木 上 所 長	＊＊ 説明 ＊＊
上 田 会 長	ありがとうございました。この 2 件に関しまして、何か御質問等ございませんでしょうか。様々な事情で住民票を置いたまま転居されるということは今までも多々ございましたので、よろしかったでしょうか。 御承認いただきましてありがとうございます。

	それでは、２番目、第９期高齢者保健福祉計画の策定について御説明のほどお願いいたします。
事務局	＊＊ 説明（概要） ＊＊
株式会社サーベイリサーチセンター	＊＊ 説明（６５歳以上アンケート） ＊＊
上田会長	よろしいですか。今のところでの皆様からの御質問等があれば、区切ったほうが。
渡邊委員	１２ページ。「９認知症にかかる相談窓口の把握について」というところで、問４０です。この調査は、これまで全て「あなたは」で訊いているわけですが、ここだけ回答する部分に、認知症の症状がある人はいますかと訊いていますよね。これは、家族に認知症の症状がある人はいるかという、あなた以外の項目について答えよと言っているのですが、格別な意図があるのでしょうか。
事務局	こちらのようなマーカーが引いてある箇所は、国が定めた質問項目になっております。
渡邊委員	分かりました。国が定めた質問なのですね。要は、出てくる数字が、ここだけ違う数字が出てくることに疑問を持ったところで、このような調査でいいもののでしょうか。
事務局	内容としては、御家族について、御家庭に認知症の症状がある人がいるかということをお聞きしている内容になっております。
上田会長	同じアンケート中、問３９、設問のところで、現在治療中という選択肢の中に認知症が入っている。これは、治療していればということなのかもしれませんが、本人であると該当してくる。しかし、次の設問ですと、治療していない方、軽度の方及び家族というところ

	ろでは対象が曖昧になるのですね。でも、これは仕方ないのですよね、国が定めた項目ですから。ということで御納得いただきましたでしょうか。
渡 邊 委 員	分かりましたが、納得しておりません。
事 務 局	こちらの設問は、認知症に係る相談窓口の把握についてという項目になり、認知症の方が御家族など身近な人にいるかどうかを訊いて、その次の設問で相談窓口を知っていますかというふうにつながってくるので、認知症に対する意識付けのようなところにはなってくると思います。
上 田 会 長	次の４１番の設問が重要で、その導入質問ということだそうです。
渡 邊 委 員	長寿課がその設問に疑問を感じないことに、非常に疑問を感じます。
森 委 員	私も６５歳以上になるものですから自分でちょっとやってみたところ、問３で、独り暮らしであるとか、夫婦２人暮らし、色々ありますが、私のところは、夫婦２人暮らしで母親と同居しております。結構そのような家庭もたくさんあるのではと思いますが、それらをその他としてまとめるのではなく、別で選択肢があればとは思ったのですが、国が指定したものだから変えられないということではありますが、３年ごとで計画が変わっていきますから、先ほど渡邊委員が言われたことも含めて、国に、こういった項目を加えたほうがより良い質問になるのではというような要望をしてもらおうと変わっていくのかと思います。
上 田 会 長	市は実際に設問をする立場として意見を具申することができるということでよろしかったでしょうか。
事 務 局	はい。

上 田 会 長	ぜひ、お願いします。
大 野 委 員	7 ページの間 17 の上から 2 番目「自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか」という質問なのですが、今はみんな個人的にスマートフォンやそのようなものを持っております。この設問では電話番号を調べるのが何を意味しているのか、従来どおり、昔のように電話帳を調べるのかという、何かこのところの設問の意図が少し曖昧で、私も答えていてよく分からなかったのですが、これはどのように解釈したら良いのでしょうか。
上 田 会 長	これはマーカーがついておりません。マーカーがついているのは 1 番だけです。
事 務 局	はい。
上 田 会 長	というと、ここは変更の余地ありということでしょうか。
事 務 局	そうですね。こちらは、介護予防基本チェックリストの中の設問から持ってきております。電話番号が分からない際に、調べて電話をかけることができるかといったような設問です。
大 野 委 員	このアンケートは、65 歳以上の方を対象としているもので、別に何か患っているとかではない一般の 65 歳以上に対してのものだと思います。とりあえず私も実際にやってみて、これは何を意図しているのだろうという疑問を感じました。だから、今おっしゃったような注釈がついていればまた違うのですが、注釈も何もないと、やはり同じような疑問を持たれる方がいるのではないかと思います。
上 田 会 長	少し表現を変えるか、あるいは注釈をつけるか。正直、私もこの質問は今の時代に合致するのかと少し思いました。大野委員のおっしゃるとおりだと思いますので、その辺りの御検討がいただければ

	と思います。 あと、ほかにございますか。
渡 邊 委 員	同じ質問で「はい」に丸を打つのと、「いいえ」に丸を打つのは、どちらが物忘れが多いことになるのですか。番号を調べて電話をかけることをしていますか「はい」というのがしっかりしているのではないですか。
事 務 局	そうですね。
渡 邊 委 員	しかし、調べなくても、知っているという人もいるでしょう。
事 務 局	認知機能が低下してくると電話を自分でかけるということも難しくなってくるという点もあります。
渡 邊 委 員	それでは、そのような質問が良いのではないのでしょうか。
事 務 局	ここについては、注釈のつけ方を少し検討したいと思います。
渡 邊 委 員	注釈があるような質問は、高齢者にはやめたほうがいいと思いますので、文章だけで判断ができるような設問にしてください。
上 田 会 長	こちらの問17ですが、1、2、3番と3つあり、はい、はい、はいと答えさせるのではなく、2番は逆転していて、いいえが認知機能の低下にかかるチェックですよね。これを紛らわしいと感じるのか、もしくは、かけることをしていますかという質問ではなく、できないと感じていますかという質問にしてはいと答えさせるか、2通りあると思います。質問の統一性ということから考えますと、少し違和感があります。 例えば、質問肢で項目がたくさんあって、その中の10項目のうち2つ、3つが逆転項目で、いいえに答えさせるというパターンはよくあります。しかし、問17は3つで数が少ないため違和感があります。その辺りはどのように問いかけるかという文章にもよるの

秋 田 委 員	で、私見でございますが、問題数が少ないのであれば、はいと答えさせる方向で統一した方がいいと感じました。 あと、何かお気づきの点等はありませんでしょうか。 9 ページの 6 番の地域での活動についてというところで、地域の差が出るのではないかと思います。私の住んでいるところの町内会は、最初はみんな入っていたのですが、町内会長の仕事が大変だからということで、どんどん抜けていき今は全体の 3 分の 1 程度に減ってしまい、町内会長をしていた方が多く残っていることで、押しつけ合いのようになっています。先日、町内会を抜けるか、抜けないかを問われるアンケートがきて、シニアクラブや町内会、自治会を続けたいと思ってもなかなか活動できない状態になってきています。 積極的な地域は活発に活動できると思いますが、私が住んでいる地域は難しく、アンケートの回答に少し差が出てくると思いますので、そのような地域の事情があるということを知ってほしいと思いました。
上 田 会 長	今おっしゃった町内会や自治会、学校でも P T A など、今の時代性なのか難しくなっていると思います。かなり地域性があるということも聞いております。 しかし、この質問の意図というのは、地域での活動についてということで、お一人お一人に、中身の種別はともかくどの程度社会参画しているかという頻度の調査と捉えてよろしいですか。
事 務 局	そのとおりです。また、そのような地域性もアンケートを取ることで確認することもできると思います。
上 田 会 長	市も、シニアクラブやその他の状況を、地区ごとに把握しつつ、必要であれば支援するというのでしょうか。
事 務 局	はい。

秋 田 委 員	相談すれば、力を貸していただけるのでしょうか。
事 務 局	市民活動課という部署で、町内会活動の支援等を行っております。
秋 田 委 員	分かりました。
大 野 委 員	今の問題に関連して思うのですが、地域での活動の内容がいろいろありますよね。例えば、全部参加していないというところに丸を打たなければならないというのは、結構な罪悪感を持ってしまうと思います。 私はたまたま色々参加しているものがあるのですが、そうではない場合に、全部参加していないというマイナスな答えをしなければいけないと回答を続けるのが嫌になってくるのではないかと思います。これは必須の質問だから変えられないというものであるならば、そのような方を拾い上げられるような言葉とか質問があると良いのではないかと思います。 マイナスな回答をさせるようなものであると、正直に答えてくれなくなるのではないかと思います。
上 田 会 長	1 番から 8 番の項目は、国が定めたように書いてあるのでしょうか。
事 務 局	そのとおりです。
上 田 会 長	1 番から 5 番まで、グループ活動という一括りにできますよね。それでは、グループ活動にどの程度の頻度で参画していますかといった質問を先にして、参画しているのがボランティアなのか、スポーツなのか、趣味なのか、複数あれば複数に丸をつけるというのが一般的な質問紙の起こし方だと思います。 この質問の 1 番から 5 番はグループ活動の細目がボランティアであったりスポーツであったりというだけなので、一つ一つ丸をつけるのは確かに面倒でその種別が違ったからどうなのだろうという疑

	間を感じております。 あともう一つは、参加する頻度として週に1回と週に2～3回とは一体何の違いを知りたいのだろうという素朴な疑問でございます。これを言い出すと切りがないかもしれません。 ほかに御意見はございませんでしょうか。
山 田 委 員	10ページの問25の選択肢の中に、薬局とか薬剤師はないのですが、4番の医師、歯科医師、看護師と一緒になのか、その他なのかいかがでしょうか。
上 田 会 長	医療職としては、4番に入るべきですよ。医療職として括るならですが、薬剤師の先生も当然入らないといけないですよ。
山 田 委 員	薬局はドラッグストアも含めて数が多いので、別項目でもいいかと思います。
上 田 会 長	今は、薬局は薬局としてセパレートになっているわけですから、院外処方が増えているということから、別項目でもいいし、医療職としてまとめるのであれば4番にないとおかしいですね。
山 田 委 員	選択肢のどこかには入れてほしいと思います。
上 田 会 長	このような御要望が出ましたので、よろしくお願いいたします。
事 務 局	必須項目ではないため、4番のところに追加させていただくこととします。
上 田 会 長	あとはよろしいですか。
渡 邊 委 員	9ページ「6地域での活動について」の問22の6番ですが、表記も含めて国が定めたとおりということで、変更はできないのでしょうか。老人クラブと記載し、括弧書きでシニアクラブと書くのは極めて不見識だと感じました。シニアクラブでは何故だめなのか

	と思います。
上 田 会 長	一般的にはほとんどそうですもんね。
渡 邊 委 員	はい。どちらでもいいかもしれませんが、シニアクラブの会員の方に回答いただく可能性があると思います。
上 田 会 長	この表記ですね。あと、質問はございませんか。
原 口 委 員	今回の65歳以上のアンケートの作成の説明の部分の中に、対象者が1,000人程度と書いてあるのですが、1,000人程度の方に郵送して、回収率は何%ぐらいを見込んでいるのか教えてください。
事 務 局	前回70～80%ぐらいだったため、今回もそのような想定をしています。
上 田 会 長	郵送ですか。
事 務 局	郵送です。
上 田 会 長	あと、よろしかったでしょうか。それでは、次の説明をお願いいたします。
事 務 局	＊＊ 説明（要介護認定者アンケート） ＊＊
上 田 会 長	ありがとうございます。 こちらの要介護認定者へのアンケート内容につきまして、何かお気づきの点等はございませんでしょうか。
渡 邊 委 員	16ページの問32ですが、ここでは認知度と参加状況・意向を訊いていますよね。ここの認知度というのは、知っているか知らないかと訊いていると思いますが、前後のところで認知症の認知とい

	う言葉がたくさん出てきていて、紛らわしいので、認知度という言葉が何か別の言葉に直らないかというのは感じました。 アンケートを進めていくと、認知というのが認知症の認知で頭の中に入り込んでしまっていて、認知度と出てくると、認知症の対象者の度合いのように感じてしまうように思います。
上 田 会 長	より適切な言葉があれば、変えてほしいということですね。認知度でないとするとなんが適切なのかということですが、いかがでしょうか。
事 務 局	一度検討してみます。
上 田 会 長	会議が終わるまでに、こういう言葉がいいのではないかというお気づきがありましたら、ぜひ教えていただきたいと思います。 では、次に参りたいと思います。
事 務 局	＊＊ 説明（介護サービス提供事業者アンケート） ＊＊
上 田 会 長	こちら、事業者の委員の方もいらっしゃっておりますので、何かお気づきの点等はございませんでしょうか。
森 委 員	２ページの間８で、コロナの影響を受けましたかという質問ですが、３年間コロナ禍にあるものですから、一般的にコロナといえば新型コロナウイルス感染症のことだとは気がつくのですが、行政が出すアンケートとして、コロナという言い方ではなく、新型コロナウイルス感染症と記載した方がいいのではないかと思います。
上 田 会 長	少し略し過ぎであるということですね。専門家に聞くわけですからしっかり述べたほうがいいかもしれませんね。御指摘ありがとうございます。 他に、お気づきの点等はございませんでしょうか。
山 田 委 員	８ページの間２５番ですが、６５歳以上アンケートと同じで、医

	療機関の中に薬局は含めていただけないでしょうか。
事務局	検討いたします。
上田会長	医療機関として何か括弧書きはないのでしょうか。全部は書き切れないので、クリニック、医院、薬局のような表記があればと思います。
	あと、よろしいですか。
	最後、介護支援専門員アンケートをお願いします。
事務局	＊＊ 説明（介護支援専門員アンケート） ＊＊
上田会長	ありがとうございます。これについても御質問等はよろしかったですか。
	あと、全般的に改めて何かお気づきの点がございましたらお願いいたします。
	先ほどの認知度に代わる言葉に関して、何かいい御意見はございませんでしょうか。
秋田委員	把握や理解はどうでしょうか。
上田会長	そうですね。私も、把握とか理解かと少し思いましたが、御検討いただければと思います。
事務局	ありがとうございます。
上田会長	ほか、何かよろしかったですか。
	このアンケートの本来の趣旨からは要らないのかと思った私見を述べさせていただいてもよろしいですか。
	先ほど、電話をかける際に電話帳は調べないという話がありましたが、今、シニアの方にもスマートフォンが普及しているので比率が高まっており、減ってはいますがガラケーを使っている方もおりまして、情報へのアクセスはシニア層の方にとって、死活問題とま

	では言いませんが、情報の入手の差というものが生まれつつあるのと感じております。コロナによって世の中が変わっていく中で、私もいつまでバージョンアップしていくスマートフォンの機能についていけるのかと思うことがあります。 その辺りの情報アクセスは、ダイレクトに介護保険には必要ないのかもしれませんが、情報入手のアクセスの程度というのを質問してもいいのではと個人的に思いましたが、ほかの委員の皆さんはどうでしょうか。 紙面などの関係もございますので、なかなか増やせないかもしれませんが、最後の方で防災という言葉が出てきて、南海トラフも含めて防災は今とても重要だと思います。その防災を鑑みても、情報が入手できるかどうかによってかなり違ってきているという結果もありますので、防災絡みで情報入手のアクセスの程度を質問してもいいのではと思いました。私見でございます。 あと、ほかに御意見等ございませんでしょうか。 ありがとうございました。それでは、本日の議題につきましては以上とさせていただきます。 それでは、事務局のほうから今後のスケジュール等も含めた御連絡をお願いいたします。
事務局	まず、先ほど皆さんに議論していただいたアンケートですが、内容を精査して、来年1月頃に発送ができるように内容の確認をしていきたいと思っております。 次回の介護保険運営協議会については、来年2月を予定しております。アンケート調査の進捗等を説明させていただきたいと思っております。 また、今回以降の運営協議会においては、オブザーバーとして杉田様の出席を予定しておりますので、お願いいたします。 以上となります。
上田会長	ありがとうございました。 それでは、ちょうどお時間もよろしいようですので、第2回介護保険運営協議会につきましては、これで終了させていただきます。

	皆様、大変な御活発な意見を頂戴しまして誠にありがとうございます。 ます。今後ともよろしく願いいたします。お疲れ様でした。
--	---